

入試年度	2026年度	入試時期	II期入学試験	実施日	2026年 2月20日(金)
課程	博士前期課程	研究科	政治経済学研究科	専攻・コース	経済学専攻(研究者コース、高度職業人コース)
入試方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験		試験科目	専門科目	
「出題の意図」					
<p>経済学に関する専門的な知識を問うとともに、論理的な思考力と適切な文章表現を評価する。経済理論、経済政策、経済史の各分野に多様な関心をもつ受験者を想定し、各自の関心に応じた具体的な題材を選択して論述できるよう配慮する。</p>					
「解答」または「解答例」					
<p>【解答例(採点時の観点)】</p> <p>4-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デフレーションに関する正確な知識を有しているか。 ・金融政策と財政政策について正確に把握しているか。 ・以上の諸点について適切かつ論理的に説明することができているか。 <p>4-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・純粋交換経済の一般均衡モデルを具体的に定式化し、正確に計算できているか。 ・純粋交換経済の市場メカニズムが選好を集計することが理解できているか。 ・以上の点を踏まえ、設問に対して適切かつ論理的に解答できているか。 <p>4-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リストやロストウなどの経済発展段階説に関する正確な知識を有しているか。 ・発展途上国の開発への応用など、経済発展段階説が持つ意義について正確に把握しているか。 ・歴史(過去)が持つ特殊・個別性の問題など、経済発展段階説の現実への応用に際しての限界や問題点について理解しているか。 ・以上の諸点について論理的にまたバランス良く記述できているか。 <p>4-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逆選択を情報の非対称性に基づく市場結果として正確に把握できているか。 ・クリームスキミングを供給者側の戦略的行動として理解できているか。 ・逆選択とクリームスキミングの関係を因果関係として整理できているか。 					

・医療・保険・教育・地域政策などの具体例が、制度・市場構造と結びつけて把握できているか。

・以上の諸点について適切かつ論理的に説明することができるか。

合否判定の方法及び基準

入学試験は政治経済学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。